

令和7年度

事業計画書

特定非営利活動法人ICTリハビリテーション研究会

1 事業実施の方針

設立初年度にあたり、事業の基盤を確立し、この法人の役員を通じた呼びかけにより利用者へのPRに注力するとともに、会員増強に努める。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 3,320 】千円)

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費(千円) |
|--|---|---|---------------------------------------|-------|--|--|---------|
| ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業 | <p>ICTとリハビリテーション・医療福祉の活用について市民や専門家に普及啓発するためのイベントや研修会を開催する。内容は、3Dプリンターや傾きセンサー技術などを活用したリハビリテーションや医療に役立つ道具の開発や、道具の提供のためのサービス、その普及に関するもの。</p> <p>テーマの例としては、市民公開講座として「3Dプリンタがもたらす福祉の未来」、専門家向け研修会として「ICTを活用した最新リハビリ技術」など。</p> <p>また COCRE HUB(ウェブサイト上の情報共有プラットホーム)を通じたオンラインでの学習コンテンツの提供を行う。</p> | <p>成立の日～令和7年12月31日まで</p> <p>市民向けイベント：年4回(3月、6月、9月、12月を予定)</p> <p>専門家向け研修会：年1回程度</p> | <p>品川区内の貸会議室、この法人の主たる事務所、インターネット上</p> | 10人 | <p>東京都を中心とする市民一般及び医療福祉従事者</p> | <p>市民公開講座 毎回100名程度</p> <p>専門家向け研修会毎回30名程度</p> | 1,660 |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成に関する認定講座事業 | <p>3Dプリンターを用いた自助具や医療福祉用具の作成技術を普及し、資格認定を通じて専門人材を育成する。インターネット上で受講生を募集し、オンラインで受講できる仕組みとする。受講対象者は医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方。</p> <p>養成講座として、初級：Tinkercad(ソフトウェア)を用いた簡単な3Dモデルの設計</p> <p>中級：災害時に必要な道具の設計と応用</p> <p>上級：医療福祉現場での活</p> | <p>成立の日～令和7年12月31日まで</p> <p>初級：年6回(奇数月)</p> <p>中級・上級：年2回(春・秋)</p> <p>オンライン講座は通年</p> | <p>この法人の主たる事務所、インターネット上</p> | 10人 | <p>医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方</p> | <p>初級・中級講座：一般医療福祉従事者、各回30度</p> <p>上級講座：医療福祉に従事する有資格者、各回15名程度</p> | 830 |

| | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|---|-----|---------------|------------------------------|----------------------------|-----|
| | 用を目的としたプロフェッショナル講座などを実施し、資格認定を行う。 | | | | | | |
| I C T とリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業 | <p>ICT 技術を活用し、障がい者や高齢者が日常生活をより快適にするための福祉用具や製品を企画・開発する。</p> <p>日用品（例：箸）や福祉用具（例：車椅子）が、より細やかに個々の障害特性などに合わせて利用しやすくなるような 3D プリントで作成した拡張パーツを、福祉機器メーカーや大学等の研究機関からと共に企画開発し、その普及を図る。拡張パーツの製作に必要な 3D プリンターのデータは、インターネット上で基本的に無償で公開する。</p> <p>デザインコンテストを通じて優秀な 3D モデルの選考を行い、COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットホーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。</p> <p>個別の企業や団体からの依頼により、用具、製品の開発に関するアドバイス業務も行う。</p> | <p>成の～和7年12月31まで企開発：通年</p> <p>立日令画：ザンコト：年1回（8月～10月）</p> <p>この人た務びタ</p> <p>の法主事及ンネ</p> <p>る所イー</p> <p>ト上</p> | 10人 | 医療福祉従事者 | 開発プロジェクト：専門チーム 10名程度 | プロジェクトコスト：応募者：50～100名／回 | 415 |
| I C T を利活用した災害時支援の研究開発及び普及事業 | <p>災害時に迅速かつ適切に対応できるリハビリテーション支援体制や ICT ツールの開発を行う。内容は、高齢者や障害者の防災や減災、障害のある被災者の生活自立度の低下の防止に役立つ 3D プリンターで製作する自助具や、傾きセンサーと組み合わせた道具を開発する。</p> <p>COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットホーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。</p> <p>また各地域での災害時にリハビリテーションを継続するための支援体制を研究するワークショップを実施する。</p> | <p>成の～和7年12月31まで研開発：通年</p> <p>立日令日：一シツ年2回（5月、11月）</p> <p>この人た務びタ</p> <p>の法主事及ンネ</p> <p>る所イー</p> <p>ト上</p> | 10人 | 医療福祉従事者及び市民一般 | 研究開発チム：医療従事者、技術者、行政関係者など 20名 | 開発チム：医療従事者、技術者、行政関係者など 20名 | 415 |

令和8年度

事業計画書

特定非営利活動法人ICTリハビリテーション研究会

1 事業実施の方針

2年目は、事業規模及びこの法人の役員を通じた呼びかけにより利用者の規模を2倍程度まで拡大する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 9,300 】千円)

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費(千円) |
|--|---|---|---------------------------------------|-------|--|--|---------|
| ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業 | <p>ICTとリハビリテーション・医療福祉の活用について市民や専門家に普及啓発するためのイベントや研修会を開催する。内容は、3Dプリンターや傾きセンサー技術などを活用したリハビリテーションや医療に役立つ道具の開発や、道具の提供のためのサービス、その普及に関するもの。</p> <p>テーマの例としては、市民公開講座として「3Dプリントがもたらす福祉の未来」、専門家向け研修会として「ICTを活用した最新リハビリ技術」など。</p> <p>また COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットホーム）を通じたオンラインでの学習コンテンツの提供を行う。</p> | <p>令和8年1月1日～令和8年12月31日まで</p> <p>市民向けイベント：年4回（3月、6月、9月、12月を予定）</p> <p>専門家向け研修会：通年（月1回程度）</p> | <p>品川区内の貸会議室、この法人の主たる事務所、インターネット上</p> | 10人 | <p>東京都を中心とする市民一般及び医療福祉従事者</p> | <p>市民公開講座毎回100名程度</p> <p>専門家向け研修会毎回30名程度</p> | 4,650 |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成に関する認定講座事業 | <p>3Dプリンターを用いた自助具や医療福祉用具の作成技術を普及し、資格認定を通じて専門人材を育成する。インターネット上で受講生を募集し、オンライン上で受講できる仕組みとする。受講対象者は医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方。</p> <p>養成講座として、初級：Tinkercad（ソフトウェア）を用いた簡単な3Dモデルの設計</p> <p>中級：災害時に必要な道具の設計と応用</p> <p>上級：医療福祉現場での活</p> | <p>令和8年1月1日～令和8年12月31日まで</p> <p>初級：年6回（奇数月）</p> <p>中級・上級：年2回（春・秋）</p> <p>オンライン講座は通年</p> | <p>この法人の主たる事務所、インターネット上</p> | 10人 | <p>医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方</p> | <p>初級・中級講座：一般医療福祉従事者、各回30度</p> <p>上級講座：医療福祉に従事する有資格者、各回15名程度</p> | 2,325 |

| | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|--|-----------------------|------|-------------|--|-------|
| | 用を目的としたプロフェッショナル講座などを実施し、資格認定を行う。 | | | | | | |
| I C T とリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業 | <p>ICT 技術を活用し、障がい者や高齢者が日常生活をより快適にするための福祉用具や製品を企画・開発する。</p> <p>日用品（例：箸）や福祉用具（例：車椅子）が、より細やかに個々の障害特性などに合わせて利用しやすくなるような 3D プリントで作成した拡張パーツを、福祉機器メーカーや大学等の研究機関からと共に企画開発し、その普及を図る。拡張パーツの製作に必要な 3D プリンターのデータは、インターネット上で基本的に無償で公開する。</p> <p>デザインコンテストを通じて優秀な 3D モデルの選考を行い、COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットホーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。</p> <p>個別の企業や団体からの依頼により、用具、製品の開発に関するアドバイス業務も行う。</p> | 令和 8 年 1 月 1 日～令和 8 年 12 月 31 日まで企画開発: 通年 デザインコンテスト: 年 1 回（8 月～10 月） | この法人の主たる事務所及びインターネット上 | 10 人 | 医療福祉従事者 | 開発プロジェクト: 専門家チーム 10 名程度 プロジェクトコスト: 50 ～ 100 名／回 | 1,162 |
| I C T を利活用した災害時支援の研究開発及び普及事業 | <p>災害時に迅速かつ適切に対応できるリハビリテーション支援体制や ICT ツールの開発を行う。内容は、高齢者や障害者の防災や減災、障害のある被災者の生活自立度の低下の防止に役立つ 3D プリンターで製作する自助具や、傾きセンサーと組み合わせた道具を開発する。COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットホーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。</p> <p>また各地域での災害時にリハビリテーションを継続するための支援体制を研究するワークショップを実施する。</p> | 令和 8 年 1 月 1 日～令和 8 年 12 月 31 日まで研究開発: 通年 ワークショップ: 年 2 回（5 月、11 月） | この法人の主たる事務所及びインターネット上 | 10 人 | 医療福祉従事者及び市民 | 研究開発チーム: 医療従事者、技術者、行政者など 20 名 ワークショップ: 医療従事者、地域住民、各回 30 名 | 1,162 |

令和7年度 活動予算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人ICTリハビリテーション研究会

(単位:円)

| 科 | 目 | 金額 | 小計・合計 |
|--|---|-----------|-------|
| 【A】 経常収益 | | | |
| 1 受取会費 | | 300,000 | |
| 正会員受取会費 | | 150,000 | |
| 一般会員受取会費 | | 50,000 | |
| 賛助会員受取会費 | | 100,000 | |
| 2 受取寄附金 | | 2,000,000 | |
| 受取寄附金 | | 2,000,000 | |
| 施設等受入評価益 | | | |
| 3 受取助成金等 | | 1,000,000 | |
| 受取補助金 | | 1,000,000 | |
| 4 事業収益 | | 3,700,000 | |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業 | | 2,000,000 | |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成に関する認定講座事業 | | 1,200,000 | |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業 | | 500,000 | |
| ICTを利用した災害時支援の研究開発及び普及事業 | | 0 | |
| 5 その他の収益 | | 0 | |
| 受取利息 | | 0 | |
| 経常収益計 | | 7,000,000 | |
| 【B】 経常費用 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| (1) 人件費 | | 100,000 | |
| 給料手当 | | | |
| 役員報酬 | | | |
| 退職給付費用 | | | |
| 福利厚生費 | | | |
| (2) その他経費 | | 3,220,000 | |
| 業務委託費 | | 2,000,000 | |
| 消耗品費 | | 800,000 | |
| 印刷製本費 | | 120,000 | |
| 運送費 | | 200,000 | |
| 旅費交通費 | | 100,000 | |
| 事業費計 | | 3,320,000 | |
| 2 管理費 | | | |
| (1) 人件費 | | 0 | |
| 役員報酬 | | | |
| 給料手当 | | | |
| 退職給付費用 | | | |
| 福利厚生費 | | | |
| (2) その他経費 | | 3,300,000 | |
| 地代家賃 | | 2,000,000 | |
| 水道光熱費 | | 500,000 | |
| 通信運搬費 | | 500,000 | |
| 支払手数料 | | 300,000 | |
| 管理費計 | | 3,300,000 | |
| 経常費用計 | | 6,620,000 | |
| 当期経常増減額 【A】 - 【B】 ... ① | | 380,000 | |
| 【C】 経常外収益 | | | |
| 固定資産売却益 | | 0 | |
| 過年度損益修正益 | | 0 | |
| 経常外収益計 | | 0 | |
| 【D】 経常外費用 | | | |
| 固定資産売却損 | | 0 | |
| 災害損失 | | 0 | |
| 過年度損益修正損 | | 0 | |
| 経常外費用計 | | 0 | |
| 当期経常外増減額 【C】 - 【D】 ... ② | | 0 | |
| 当期正味財産額 ① + ② ... ③ | | 380,000 | |
| 前引期正味財産額 ... ④ | | 70,000 | |
| 設立時正味財産額 ... ⑤ | | 0 | |
| 次期正味財産額 ③ - ④ + ⑤ | | 310,000 | |

令和8年度 活動予算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人：ICTリハビリテーション研究会

(単位：円)

| 科 | 目 | 金額 | 小計・合計 |
|--|---|-----------|------------|
| 【A】 経常収益 | | | |
| 1 受取会費 | | 260,000 | |
| 正会員受取会費 | | 100,000 | |
| 一般会員受取会費 | | 50,000 | |
| 賛助会員受取会費 | | 110,000 | |
| 2 受取寄附金 | | 5,000,000 | 5,000,000 |
| 受取寄附金 | | | |
| 施設等受入評価益 | | | |
| 3 受取助成金等 | | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 受取補助金 | | | |
| 4 事業収益 | | 8,000,000 | 8,000,000 |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業 | | 4,000,000 | |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成に関する認定講座事業 | | 3,200,000 | |
| ICTとリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業 | | 800,000 | |
| ICTを利用した災害時支援の研究開発及び普及事業 | | 0 | |
| 5 その他の収益 | | 0 | 0 |
| 受取利息 | | | |
| 経常収益計 | | | 15,260,000 |
| 【B】 経常費用 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| (1) 人件費 | | 600,000 | 600,000 |
| 給料手当 | | 600,000 | |
| 役員報酬 | | | |
| 退職給付費用 | | | |
| 福利厚生費 | | | |
| 旅費交通費 | | | |
| (2) その他経費 | | 8,700,000 | 8,700,000 |
| 業務委託費 | | 6,000,000 | |
| 消耗品費 | | 1,600,000 | |
| 印刷製本費 | | 300,000 | |
| 運送費 | | 500,000 | |
| 旅費交通費 | | 300,000 | |
| 事業費計 | | | 9,300,000 |
| 2 管理費 | | | |
| (1) 人件費 | | 960,000 | 960,000 |
| 役員報酬 | | | |
| 給料手当 | | | |
| 退職給付費用 | | | |
| 福利厚生費 | | | |
| (2) その他経費 | | 4,650,000 | 4,650,000 |
| 地代家賃 | | 2,000,000 | |
| 水道光熱費 | | 1,000,000 | |
| 通信運搬費 | | 1,000,000 | |
| 支払手数料 | | 650,000 | |
| 管理費計 | | | 5,610,000 |
| 経常費用計 | | | 14,910,000 |
| 当期経常増減額 【A】 - 【B】 ... ① | | | 350,000 |
| 【C】 経常外収益 | | | |
| 固定資産売却益 | | 0 | |
| 過年度損益修正益 | | 0 | |
| 経常外収益計 | | | 0 |
| 【D】 経常外費用 | | | |
| 固定資産売却損 | | 0 | |
| 災害損失 | | 0 | |
| 過年度損益修正損 | | 0 | |
| 経常外費用計 | | | 0 |
| 当期経常外増減額 【C】 - 【D】 ... ② | | | 0 |
| 税引前当期正味財産増減額 ①+② ... ③ | | | 350,000 |
| 法人税、住民税及び事業税 ... ④ | | | 70,000 |
| 前期繰越正味財産額 ... ⑤ | | | 310,000 |
| 次期繰越正味財産額 ③-④+⑤ | | | 590,000 |